



## (2) 乗合バスの車内事故

5月1日(火)午後0時頃、青森県において、同県に営業所を置く乗合バスが乗客2名を乗せて運行中、信号機のあるT字路交差点で停車後、発進したところ、乗客1名(女性・84歳)が転倒した。

この事故により、当該乗客が右上腕骨骨折の重傷を負った。

当該バスの運転者は、走行中及び停車中に当該乗客が当該バスの左側最前部の座席に着席しているのを確認していたが、注意喚起のアナウンスを行わず発車したため、発進とほぼ同時に何らかの理由で立ち上がった当該乗客がバランスを崩し転倒した模様。

## (3) 乗合バスと乗用車の衝突

5月3日(木)午前5時50分頃、千葉県において、同県に営業所を置く乗合バスが乗客9名を乗せて運行中、当該バスが黄色信号で交差点に進入したところ、当該バスから見て右側より赤信号で進入してきた乗用車が当該バスの右側面に衝突し、衝撃により対向車線側歩道に飛び出し停車した。

この事故により乗客8名(大人7名、子供1名)、当該バスの運転者、及び当該乗用車の運転者の計10名が軽傷を負った。

## (4) 乗合バスとスケートボードに乗った少女が衝突

5月6日(日)午前11時35分頃、東京都において、都内に営業所を置く、乗合バスが乗客14名を乗せて運行中、交差点を左折しようとしたところ、当該バスの左側の歩道をスケートボードに乗り滑走していた少女を轢いた。

この事故により、轢かれた少女が死亡した。

事故現場は、当該少女からみると下り坂となっており、事故当時、当該少女はスケートボードで滑走中、当該交差点の手前でバランスを崩して車道側に転倒、当該バスの左側面から車体下部に潜り込んだ模様。

## (5) 貸切バスが高速道路の左側壁に衝突

4月29日(日)午前4時40分頃、群馬県の高速道路において、千葉県に営業所を置く、貸切バスが乗客45名を乗せて運行中、当該高速道路の左側壁に衝突した。

この事故により、当該バスの車体正面が当該高速道路の側壁を突き破るような形で大破し、当該バスの乗客45名が負傷のうち16名が重傷(重傷者16名のうち7名が死亡)。

当該バスは28日午後10時頃石川県金沢市を出発し、東京ディズニーランドに向かっていた。

## (6) 貸切バスの車両火災

5月4日(金)午後0時20分頃、神奈川県において、同県に営業所を置く

貸切バスが乗客33名を乗せて運行中、当該バスのエンジンルーム付近から出火しその後全焼した。

当該バスの乗客は全員避難していたため負傷者はなし。

当該バスは同日午前9時に横浜市から乗客33名を乗せ熱海市へ向かう途中であった。

#### (7) タクシーとバイクの衝突

5月2日(水)午後11時20分頃、沖縄県において、同県に営業所を置くタクシーが空車で片側一車線の道路を運行中、利用客を乗車させようと当該道路をUターンしようとし、一端、左よりの路肩に停車して、後方から走行してきた車両1台を通り過ぎた後、更に後方から来た2人乗りのバイクに気付かず右折したところ、当該バイクが当該タクシーの右側部分に衝突した。

この事故により、バイクに乗っていた男性1名が死亡、女性1名が重傷を負った。

事故現場は、タクシーから見て左側に緩やかにカーブしており、後方からの見通しが悪い道路であった模様。

#### (8) タクシーとトラックの衝突

5月4日(金)午前2時10分頃、埼玉県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客1名を乗せて運行中。当該タクシーが信号を見誤り赤信号で交差点に進入したところ、当該タクシーから見て右手方向より青信号で進入してきたトラックと衝突した。

この事故によりタクシーの乗客が顔面骨折・肋骨の骨折による重傷。タクシーの運転者が右手右足の骨折による重傷を負った。

#### (9) タクシーと乗用車が衝突

5月9日(水)午前7時10分頃、静岡県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客1名を乗せて運行中、交差点を直進しようとしたところ、当該タクシーから見て右から走行してきた乗用車と衝突した。

その後、当該タクシーのエンジンルーム中央部から出火し、ボンネットの上、数10センチまで燃え上がったが、出火後1分程度で鎮火した。

この事故により、当該乗用車の運転者が軽傷、当該タクシーの運転者及び乗客に怪我はなし。

事故現場は、当該タクシー側に一時停止の義務がある交差点で、この事故は、当該タクシーの運転者が、当該交差点を直進する際に安全確認を怠ったため発生した模様。

#### (10) 大型トラックが停車中の車両に追突

5月1日(火)午後11時10分頃、栃木県の東北自動車道において、東京都に営業所を置く大型トラックが走行中、接触事故を起こし、路肩に停車して

いた別の大型トラックと軽乗用車に追突し、その後、当該大型トラックの後方を走行していた乗用車2台が次々と追突した。

この事故により、追突した2台の乗用車のうち2台目に追突した乗用車の乗員1名が死亡、2名が重傷、2名が軽傷、追突した1台目の乗用車の乗員1名が軽傷、路肩に停車していた軽乗用車の乗員2名が軽傷を負った。

なお、路肩に停車していた大型トラックは路肩からはみ出して停車していた模様。



【2. 安全指導業務（適性診断・運行管理に関する講習）への民間参入を促進します】

国土交通省では、自動車運送事業の安全を確保するため、自動車運送事業者に対して、運転者に適性診断を受けさせること、運行管理者に運行の管理に関する講習を受けさせることを求めており、これらの安全指導業務の実施者については、これまで（独）自動車事故対策機構等を認定しています。

これらの業務については「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針（平成22年12月6日閣議決定）」において、民間への業務移管を進めるとされていることから、この度、当該安全指導業務の実施者に係る認定基準等を見直し、民間参入の促進を図ることとしましたのでお知らせします。

○認定要領等の関係資料

以下のリンク先をご覧ください。

( <http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/instruction.html> )

○説明会のご案内

以下のリンク先をご覧ください。

( [http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html) )



【3. トラック、バス、タクシーの安全教育マニュアルをつくりました】

トラック、バス、タクシーの各業態別に安全運転のためのわかりやすい教育用マニュアルを策定しました。

各事業者が運転者に対し指導監督する際、各社の運行実態を考慮し、各社の独自のマニュアル等と合わせて、本マニュアルを活用していただけるよう周知していくこととしています。

○マニュアル本体については、以下のリンク先をご覧ください。

( <http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/instruction.html> )





- ・ [第3分冊] 社会的影響の大きい重大事故の要因分析

※報告書本体については、以下のリンク先をご覧ください。

( <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/03analysis/examination.html> )



【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車局安全政策課

\* このメルマガについてのご意見は、< [jiko-antai@mlit.go.jp](mailto:jiko-antai@mlit.go.jp) >までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

( <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/enzenplan2009/faq.html> )

【参考】

\* 自動車局ホームページ

( <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> )

\* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ ホームページ受付 ( [www.mlit.go.jp/RJ/](http://www.mlit.go.jp/RJ/) )

・ フリーダイヤル受付 0120-744-960

( 平日9:30~12:00 13:00~17:30 )

・ 自動音声受付 03-3580-4434 ( 年中無休・24時間 )

\* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

